

3年後離職率から分かること

みなさんは「3年後離職率」という言葉を聞いたことがありますか？3年後離職率とは就職した人のうち、どれくらいの人が3年以内にその会社を辞めているのかということを割合で示したものです。下のグラフから分かるように、実は苦労して就職活動をしたにもかかわらず高校を卒業して就職した者のうち約40%は3年以内に離職しているというのが現実です。

就職してから3年以内に離職した人達は、その後どのような道を辿るのでしょうか？過去の事例をひとつご紹介します。

事例

A君は高校を卒業し、ある工場の技術者の職に就きました。しかし指導役の先輩とのトラブルがあり、1年未滿で工場を辞めてしまいました。

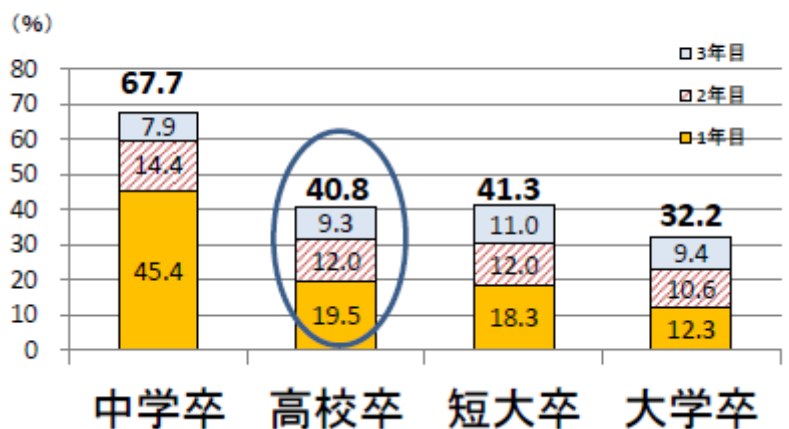
その後、自分の身につけた技術を活かそうと業務内容の似ている工場の中途採用の試験

を受けますが、なかなか受かりません。結局、前の職場よりも給料が低く、労働条件が悪い工場に再就職します。

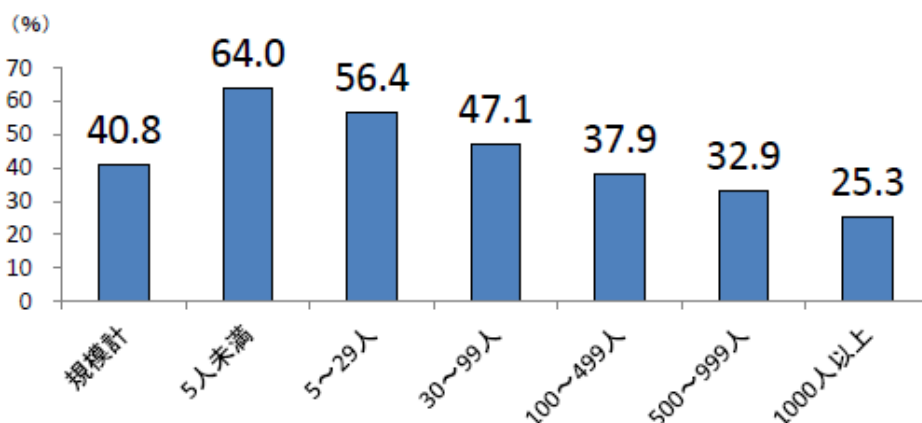
しかし、その後すぐに労働環境の悪さに嫌気がさし、辞めてしまいます。A君はその後、いくつかのアルバイトを転々とし、レストランでのアルバイトに定着しました。現在のアルバイトは楽しくやっているものの、将来への不安を抱えながら生活しています。

A君は最初の工場を辞めたとき、次の仕事はすぐに見つかるはずだと思っていたそうです。しかし現実はその上手くいきませんでした。企業は短期間で仕事を辞めたことに決して良い印象を持ってはくれません。また一般的に3年以内の勤務では、次の職場で即戦力となれる技術を身につけたとは認められません。

平成26年3月新規学卒就職者の離職率



平成26年3月新規高卒就職者の事業所規模別就職3年後の離職率



このようにA君の事例からは早期離職をするとその後に大きな苦労が待っているということが分かります。

つまり就職活動のときに「何となく」企業を選ぶと、就職した後にA君のようなことになってしまいます。企業について自分でよく調べ、インターンシップや見学で実際に見てみることで、しっかりと納得して、長く勤められるような企業に就職することが大切なのです。

進路出陣式



9月4日に進路出陣式が行われました。9月1日から就職活動が解禁となり、いよいよ3年生の進路活動が本格始動するこの時期にそれぞれの気持ちを改めて高める良い機会となったのではないのでしょうか。式では3人の代表者から決意が語られました。

私の夢はサービス業に就き、たくさんの人々に、笑顔と幸せを提供することです。

最近になり、自分の好きなこと、やりがいを感じられそうな求人票を先生に教えてもらい、ようやく自分の夢へと近づいてきました。

最後まで気を引き締め、皆それぞれの夢へと向かって頑張っています。内定をいただいたら絶対に辞めません。

就職代表 谷藤 麻衣



私は進路についてたくさん悩みました。その結果、厳しい社会環境で成長して、生きていきたいと思い、地方公務員になることを目指すことにしました。

・・・責任感を持ち、やりがいのある仕事に就きたい・・・
・・・今、自分たちは諦めず自分と向き合い、できることを仲間と共に最後までやり遂げたいと思います。

公務員代表 中松 和哉

進路とはまさに「選ぶこと」だらけであると思います。

・・・大学進学が私の第一目標ですが、夢はその先に教師になることです。

・・・何より大事なのは進んだ道を疑わないことだと言いたいです。・・・信じ続けよう、目指し続けよう。

さあ行くぞ、目指せ、達せ、北海学園大学！

進学代表 古川 武蔵



3年生の皆さんはこれから書類作成や面接練習など忙しくなると思います。進路実現に向けて頑張ってください。また1、2年生も3年生の姿を見て、来年、再来年の自分の姿を思い描いてみましょう。

進路決定第1号

・札幌スポーツ&メディカル専門学校

3年生の進路決定状況は体育館前掲示板に随時掲示しています。ご覧ください。